

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので予めご了承ください。
なお、合否結果は平成 28 年 3 月に発表し、本人に通知いたします。

平成 27 年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験問題

問 1. 居住環境の問題として、誤っている記述を選びなさい。

1. 光化学スモッグ
2. 化学物質
3. 換気不良
4. カビの発生
5. ダニの発生

問 2. 冷暖房時の温熱環境について、正しい記述を選びなさい。

1. 冷房時の室温は、21℃から 25℃が適温である。
2. 冷暖房時の外気との温度差は、10℃ぐらいがよい。
3. 気流が 1 m/s 増すと、3℃位涼しく感じるができる。
4. 湿度が下がっても、不快感は変わらない。
5. 冷やし過ぎで健康障害になることはない。

問 3. 上手な換気の方法について誤りを選びなさい。

1. 調理時及び喫煙時などには、窓や換気扇を利用して換気をする。
2. 窓や換気扇を利用の際は、反対側の窓も開けるなど、空気の流れを考える。
3. 窓や換気扇を利用の際は、空気の流れを考えて、最大限に窓を開けなければならない。
4. 超高層集合住宅など機械換気をしている場所では、無理に窓を開けない。
5. まず外からの空気の入りを確保しないと、部屋の汚れた空気を外に捨てることはできない。

問 4. WHO が有機化合物の沸点を基にして定義する VOC (揮発性有機化合物) について、誤りを選びなさい。

1. 沸点 0℃～50～100℃の範囲のもの……超揮発性有機化合物 (VVOC)
2. 沸点 50℃～240～260℃の範囲のもの……揮発性有機化合物 (VOC)
3. 沸点 240～260℃～380～400℃の範囲のもの……準揮発性有機化合物 (SVOC)
4. 沸点 380℃以上のも……粒子状有機物質 (POM)
5. 沸点 500℃以上のも……超粒子状有機物質 (VPOM)

問 5. 住居内における臭気の3大発生源として、正しい記述を選びなさい。

1. 「押入れ」「浴室」「台所」
2. 「トイレ」「浴室」「台所」
3. 「トイレ」「ゲタ箱」「台所」
4. 「トイレ」「浴室」「タバコ臭」
5. 「押入れ」「ゲタ箱」「タバコ臭」

問 6. 一般にカビが増殖する条件について、最も正しい記述を選びなさい。

1. 栄養分・温度・湿度・酸素・時間
2. 発生源・温度・湿度・酸素・時間
3. 栄養分・結露・湿度・酸素・時間
4. 結露・北側・湿度・酸素・時間
5. 栄養分・温度・気流・酸素・時間

問 7. 住宅環境におけるカビの発育についての記述で誤りを選びなさい。

1. 住居内のカビは5月頃と9～10月頃に多くなる。
2. 住居内では、水まわり（浴室、トイレ、洗面所、キッチン）と北側に面した壁やコーナー、北側から入る玄関でカビが発生しやすい。
3. 結露はカビの原因となる。
4. 一般的にキッチンの換気扇のダクトはカビが増殖しやすい。
5. エアコンのフィルタやダクト、寝具にもカビが増殖する。

問 8. 防カビ対策で誤りを選びなさい。

1. 水蒸気の発生を抑える。
2. 換気により湿気を排出する。
3. 除湿により絶対湿度を下げる。
4. 温度を上げて相対湿度を上げる。
5. 薬剤を用いてカビの発生を防止する。

問 9. ネズミの駆除方法に関する記述として誤りを選びなさい。

1. 餌になるような食べ物はきちんと管理保管する。
2. 防鼠構造にするなど住宅を管理する。
3. 生け捕りカゴを効果的に配置する。
4. 粘着トラップを効果的に配置する。
5. 子供、ペットのいる家では殺鼠剤を適当に配置する。

問 10. 汚れの要因について、に当てはまるものを選びなさい。

住まいでは、人が生活する上で発生する様々な汚れがある。の汚れとしては、衣類から発生する綿ホコリ、台所の油汚れや浴室の石鹸カスなどがある。

1. 自然的要因
2. 人為的要因
3. 化学的要因
4. 物理的要因
5. 機械的要因

問 11. 汚れの付着状態で、除去方法が不適切なものを選びなさい。

1. 床に落ちているホコリや髪の毛などを掃除機で除去する。
2. プラスチック素材の表面に静電気で吸い付いているホコリを乾いたタオルで拭き取り除去する。
3. ガムやアメなどが床にべたついた状態で付着したものを樹脂製のヘラを使用し、床を傷つけないよう注意し、こそぎ取る。
4. 蛇口のメッキに付着した水垢汚れは、化学的な結合で材質に付着しているため除去しにくいので、材質を傷めない研磨剤で削り取り除去する。
5. 金属面のサビ汚れは、金属面を傷めないような研磨剤で磨き除去する。

問 1 2. 「家庭用品品質表示法」の分類について、に当てはまるものを選びなさい。

とは、洗浄の主たる作用が脂肪酸塩以外の界面活性剤によるもので、これに無機、有機のビルダー（助剤）などの性能向上剤を加えたものをいう。

の界面活性剤は、動植物油脂の他に石油を原料としてつくられる。

1. 漂白剤
2. 石けん
3. 洗浄剤
4. 洗剤（合成洗剤）
5. 研磨剤

問 1 3. 界面活性剤の作用に関する記述で誤りを選びなさい。

1. 水だけではハジキやすい場合でも、界面活性剤を加えると表面張力が下がってヌレやすくなる表面（界面）張力を低下させる作用。
2. 水と油は混ざらないが、界面活性剤を入れてかくはんすると、油の粒子が小粒になって分散する乳化作用。
3. 水と親油性の粒子は混ざらないが、界面活性剤を入れてかくはんすると液中で分散する作用。
4. 界面活性剤はある一定濃度以上になると親油基同士を内側にして集まり、ミセルを形成する作用。
5. 界面活性剤は、水の表面張力を低下させることにより、水が汚れの中へ浸透するのを困難にする浸透、湿潤作用を持つ。

問 1 4. 洗剤成分である界面活性剤の性質で誤りを選びなさい。

1. 表面（界面）張力の低下作用
2. 浸透作用
3. 乳化作用
4. 分散作用
5. 消泡作用

問 1 5. クリーニング用洗剤と溶剤に関する記述のうち誤りを選びなさい。

1. 塩素系のカビ取り剤の使用に当たっては、酸性タイプの浴室用洗剤との併用は危険な塩素ガスを発生する恐れがある。
2. 界面活性剤は洗浄中においては汚れの再付着を防止する作用もある。
3. 塩素系溶剤は引火の危険性のないものが多い。
4. 有機溶剤は油汚れの除去に効果がある。
5. 合成洗剤は植物性油脂のみを主原料として合成されている。

問 1 6. 洗剤成分の性質や特徴についての記述で誤りを選びなさい。

1. アルカリ剤は油脂汚れを分解する性質を持っている。アルカリ性洗剤に使用されるアルカリ剤として、水酸化ナトリウム（苛性ソーダ）がある。
2. 酸剤は水垢や尿石などの汚れを分解する性質を持っている。酸性洗剤に使用される酸剤として、水酸化カリウムがある。
3. 溶剤は洗剤の用途に応じ様々なものが使用されている。洗剤に使用される代表的な溶剤として、アルコール系溶剤がある。
4. 酵素剤は、動植物の生体内で各種物質の分解や合成に触媒的な働きをする高分子有機化合物であるが、洗浄の目的にも利用されている。洗剤に使用される代表的な酵素剤として、アミラーゼがある。
5. 研磨剤は水垢汚れなど除去しにくい汚れを削り取るといった物理的効果を持つ。クレンザーに使用される代表的な研磨剤として、酸化アルミニウムがある。

問 1 7. 溶剤に関する説明で にあてはまる正しい組み合わせを選びなさい。

溶剤は (ア) の溶解力に優れ、様々な洗剤に使用されるが、素材によっては侵されるものもあることから注意が必要である。作業にあたっては (イ) に十分注意し、保護手袋を用いる。また、 (ウ) も高いため保管も厳しくしなくてはならない。

1. (ア) カビ系細菌類 (イ) 使用量 (ウ) 固形性
2. (ア) 油脂系物質 (イ) 換気 (ウ) 引火性
3. (ア) 固形物 (イ) 混合 (ウ) 沸点
4. (ア) 天然系繊維 (イ) 飛散 (ウ) 膨張性
5. (ア) 水溶系物質 (イ) 使用期限 (ウ) 変色性

問18. アルコールの特性について述べているが誤りを選びなさい。

1. 殺菌、消毒効果とともに、防カビに有効である。
2. 水と良く混じり、油を良く溶かす。
3. -114°C 以下にならないと凍らない。
4. 無色透明で芳香があり、揮発しにくい液体である。
5. 薬局、薬店で「消毒用エタノール」として購入する。

問19. 塩ビ系床材のメンテナンス性質について、に当てはまるものを選びなさい。

は、樹脂ワックスの密着性に優れる傾向にあるが、初めてワックスを塗布する際や剥離作業後は、樹脂ワックスの吸い込みが多く光沢が出にくい。シール性の良い高濃度タイプなど光沢の出やすい樹脂ワックスの選定が望ましい。

1. ホモジニアスビニル床タイル
2. コンポジションビニル床タイル
3. 長尺塩ビシート
4. インレイドシート
5. クッションフロア

問20. ワックスの分類について、に当てはまるものを選びなさい。

は、天然・合成ロウなどの不揮発性成分を揮発性の有機溶剤（石油系溶剤）に溶かし、界面活性剤を用いて水に乳化したものである。

1. 油性ワックス
2. 乳化性ワックス
3. 水性ワックス
4. 半樹脂ワックス
5. 樹脂ワックス

問 2 1. ワックスの分類と各ワックスの主な成分について、正しい記述を選びなさい。

1. 油性ワックスは、天然・合成ロウなどの不揮発性成分を水に溶かしたものである。
2. 乳化性ワックスは、天然・合成ロウなどの不揮発性成分を揮発性の有機溶剤（石油系溶剤）に溶かしたものである。
3. 乳化性ワックスは、天然・合成ロウなどの不揮発性成分を水に溶かしたものである。
4. 水性ワックスは、天然・合成ロウなどの不揮発性成分を揮発性の有機溶剤（石油系溶剤）に溶かしたものである。
5. 樹脂ワックスは、アクリル樹脂に合成ロウ・アルカリ可溶性樹脂、及び少量の可塑剤・界面活性剤を加え、水に分散させたものである。

問 2 2. 樹脂ワックスを塗り重ねる際に、仕上がり不良として発生することのある「艶ボケ現象（部分的または全体にわたって白く艶がボケる現象）」が起きやすい条件を述べているが、誤りを選びなさい。

1. 室内の湿度が高い時
2. 床の温度が低い時
3. ワックスを厚く塗り過ぎた時
4. ワックスを1時間以上乾燥させた時
5. ワックス塗布直後に送風機など強制的に乾燥させた時

問 2 3. 清掃用資機材の記述について、に当てはまるものを選びなさい。

は、トイレ、台所のシンク、浴室、洗面台などの排水パイプの詰まりを真空の吸引力によって除去する。

1. スポイト
2. 真空掃除機（ウエット型）
3. サクションポンプ
4. ウォータープライヤー
5. コンプレッサー

問 2 4. クリーニングに使用する資機材で、写真の名称を選びなさい。

1. アップライト型真空掃除機
2. サイクロン式真空掃除機
3. ポッド型真空掃除機
4. ウエット型真空掃除機
5. ブロワバキューム



問25. 「綿パッドクリーニング」での特徴で正しい記述を選びなさい。

1. ウィルトンカーペット洗浄に適している。
2. 汚れの多い場所に適している。
3. 処理後、しばらく時間を置かなくてはならない。
4. 洗剤は強アルカリ性洗剤が最も適している。
5. 無発泡性洗剤を使用することにより、基布まで浸透することでキレイに仕上がる。

問26. 埃を除去するために用いる資機材として最も適していないものを選びなさい。

1. 化繊製パッド
2. 半濁き状態のタオル
3. 水分を含ませたおがくず
4. ダストクロス
5. 超極細繊維のクロス

問27. 電気機器を使用するときの記述について、誤りを選びなさい。

1. ハウスクリーニングを行うために使用する機器については、1台当たりの電気容量が1,500W以下の機器を使用するように心がけること。
2. 1つのコンセントから2,000Wまでの機器を使用することができる。
3. 600Wの掃除機を使用する場合でも、掃除機の絶縁抵抗が不良だった場合、主開閉器（ELB）が遮断して、家の中が停電状態になることもある。
4. ドラム延長コードを使用する場合は巻いてあるコードを全部引き出してから使用する。
5. 機器につながっているコードが短いため、途中コードをつないで使用する場合は、機器のコードと同一のケーブルを使用するとよい。

問28. 次のカーペットの製造方法による分類について、に当てはまるものを選びなさい。

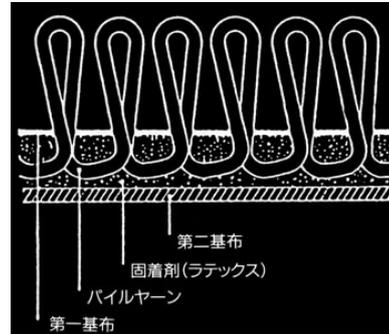
は、機械織カーペットに分類される。このカーペットは、水を多く使用するクリーニングを行うと縮みを起こすことがあるので注意が必要となる。

1. タフテッドカーペット
2. だん通
3. ウィルトンカーペット
4. コードカーペット
5. ニードルパンチカーペット

問29. カーペットの製造方法とクリーニング時の注意事項を示した。次の図のカーペットの名称を選びなさい。

洗剤を多量に使用すると、第二基布の材質を傷めるので、パイルのほつれの原因になる。

1. だん通
2. アキスミンスターカーペット
3. ウィルトンカーペット
4. コードカーペット
5. タフテッドカーペット



問30. 次のフローリングの分類について、に当てはまるものを選びなさい。

日本農林規格によるフローリングの分類は、主として、板その他の木質系材料からなる床板で、表面加工その他所用の加工を施したものを総称して「フローリング」と定義し、と複合フローリングに大別している。

は、厚さ方向（垂直方向）に断面を見た場合、1つの材で構成されたフローリングである。クリーニングの際、多量に水を使用すると「反り」のトラブルを招くことがあるので注意が必要である。

1. 合板フローリング
2. シートフローリング
3. 単層フローリング
4. 針葉樹合板フローリング
5. WPC系フローリング

問31. 次のフローリングについての記述で、に当てはまるものを選びなさい。

フローリングの凹み傷などを付けにくくする目的で、木材の組織にプラスチックを充填し硬化させる加工をと言う。

クリーニング時の注意事項としては、機械を使うとはがれの原因となるので、手作業による方法が要求される。

1. コーティング加工
2. UV加工
3. ポリッシュ加工
4. FRP加工
5. WPC加工

問32. 次の床材についての記述で、に当てはまるものを選びなさい。

は、耐アルカリ性に劣り、強アルカリ性のハクリ剤によって変色する。そのため、ハクリ作業を行う場合は、中性ハクリ剤を使用しなければならない。

1. リノリウム
2. コンポジションビニル床タイル
3. クッションフロア
4. 御影石
5. 陶磁器質床タイル

問33. 次の天然石についての記述で、に当てはまるものを選びなさい。

は、石灰岩が変質したもので、炭酸カルシウムを主成分とし、その他に多様な不純物（粘土質や軟体動物の残屍など）が含まれている。天然石の中では、傷が付きやすく酸に非常に弱い性質を持つ。内壁建材に向いている。

1. 花崗岩
2. 粘板岩
3. 大理石
4. 蛇紋岩
5. 閃緑岩

問34. 次の天然石についての記述で、に当てはまるものを選びなさい。

は、石英、長石、雲母などを主成分とした天然石で、天然石の中では、耐摩耗性に優れた性質を持つ。風化にも強く、屋外の壁や床の建材にも使用される。

1. 花崗岩
2. 粘板岩
3. 大理石
4. 蛇紋岩
5. 石灰岩

問35. 次の床材についての記述で、に当てはまるものを選びなさい。

は、天然の粘土や石材を原料とし、一度焼結させ、これを微細粉し練り上げ、何千トンもの高圧プレス機で成形し、更に1000度近い高温で焼き上げられたものである。クリーニングには弱アルカリ洗剤や弱酸性洗剤で対応することができる。しかし、目地のモルタルを焼かないため注意が肝要である。

1. リノリウム
2. セメント系テラゾー
3. モルタル系タイル
4. 御影石
5. 陶磁器質系タイル

問36. 次のステンレスの表面仕上げについて、に当てはまるものを選びなさい。

ステンレスのの清掃で、一般のタオルを使用すると、表面に傷が付いてしまう（傷が目立ってしまう）ことがあるため、必ずステンレス用のウエスを使用する。

洗剤成分が残ると仕上がりがムラになりやすいので、残留成分の少ない洗剤を使用し、使用後は十分な拭き上げをしなければならない。

1. エッチング仕上げ
2. ヘアライン仕上げ
3. 鏡面仕上げ
4. カラー仕上げ
5. 凹凸仕上げ

問37. 建物外装材としてのガラスの記述の中から、誤りを選びなさい。

1. 型板ガラスは、溶解ガラス素地をロールの間を通し、その際ローラーの様々な模様を押し付けて製造される。
2. 強化ガラスは、フロート板ガラスを加熱炉に入れて軟化温度（1600～1700℃）近くまで加熱した後に、両面から冷風を吹き付けて急冷したものの。
3. 網（線）入りガラスは、溶解ガラス素地をロール形成する時に、金属製の網又は線をガラス内部に挿入した板ガラスのことをいう。
4. 合わせガラスは、複数（通常は2枚）の板ガラスの間に透明で強靱なポリビニルブチラール膜（厚さ：0.3～0.4mm）などが圧着されたものの。
5. 複層ガラスは、2枚のガラスの中間層（6mm 或いは12mm が一般的）に乾燥空気を閉じ込め（乾燥剤を封入）、断熱性を高めたものの。

問38. ビニルクロス壁面のクリーニング作業の説明について、適正でないものを選びなさい。

1. 家具類を移動し、移動不可能な家具等は養生する。
2. 真空掃除機で壁全体を除塵する。
3. 専用洗剤を壁面に吹き付ける手順は下部から上部へ作業を進める。
4. 汚れの多い部分には、スプレーで直接酸性洗剤を吹き付ける。
5. 専用洗剤を拭き取る手順はウェットタオルのキレイな面を常に使い、一通方向に拭き上げる。

問39. 天井仕上げ材について にあてはまるもので正しい組み合わせを選びなさい。

(ア) は、台板合板の上に、各種模様、色彩のものを印刷したもの、又は印刷した化粧紙を張ったものである。特に、銘木の美しい木目を再現したものも多い。クリーニングの方法としては、全体を除塵後、 (イ) を使用してタオル拭きで汚れを除去する。

1. (ア) プリント合板 (イ) 弱アルカリ性洗剤
2. (ア) 塗装合板 (イ) 強アルカリ性洗剤
3. (ア) ファイバーボード (イ) 漂白剤
4. (ア) 色彩合板 (イ) 弱アルカリ洗剤
5. (ア) 化粧合板 (イ) 炭化水素系溶剤

問40. 天井クリーニング（ビニルクロス）の作業方法について に当てはまるものを選びなさい。

真空掃除機で全体を除塵する場合は、隅々は を使用して十分に徐塵する。

1. ナイロンブラシ
2. アタッチメント
3. スポンジブラシ
4. ハンドパッド
5. 化学モップ

問 4 1. シンク（流し台）に付いた水垢汚れを除去するのに、最も効果的な洗剤（洗浄剤）を選びなさい。

1. 中性洗剤
2. 塩素系漂白剤
3. 樹脂ワックス用剥離剤
4. 弱アルカリ性洗剤
5. クレンザー

問 4 2. ガスコンロの清掃について、誤りの記述を選びなさい。

1. 付着した油汚れを除去するために油脂汚れ用アルカリ性洗剤を使用した。
2. グリル排気口カバーや五徳などガスコンロの部品で容易に取り外せるものは油脂汚れ用アルカリ性洗剤に付け置きし、しばらく置いてからスポンジで洗浄した。
3. グリル排気口カバーや五徳などを油脂汚れ用アルカリ性洗剤に付け置き洗浄したが、焦げ付き汚れが落ちなかったため、樹脂製のヘラでこそぎ落とした。
4. 焦げ付き汚れが油脂汚れ用アルカリ性洗剤で落ちなかったため、クレンザーを使用した。
5. 焦げ付き汚れが油脂汚れ用アルカリ性洗剤で落ちなかったため、酸性洗剤に付け置きし、しばらく置いてから樹脂製のヘラでこそぎ落とした結果、汚れは良く落ちキレイになった。

問 4 3. 主な排水トラップの種類として不適切なものを選びなさい。

1. Sトラップ
2. Tトラップ
3. Pトラップ
4. 袋トラップ
5. わんトラップ

問 4 4. 洗面台の清掃について、正しい記述を選びなさい。

1. 洗面器に付いた皮脂や軽度の石鹼カス汚れを落とすのに、アルカリ性浴室用洗剤を使用した。
2. 弱酸性浴室用洗剤を使用し洗面器の清掃を行った後、カビ汚れが残っていたため、塩素系のカビ取り剤を使用した。
3. 鏡に付いた水垢汚れを落とすのに、弱酸性浴室用洗剤を使用した。
4. 金属製の蛇口表面に付いた水垢汚れを落とすのに、弱酸性浴室用洗剤をペーパータオルを用いて湿布し、しばらく置いてからスポンジで清掃した。
5. 金属製の蛇口表面にサビが見られたので、弱酸性浴室用洗剤をペーパータオルを用いて湿布し、しばらく置いてからスポンジで清掃した。

問45. 浴室の床、壁面の仕上げ材の主要な材質として不適切なものを選びなさい。

1. 陶器タイル
2. 磁器質タイル
3. セツ器質タイル
4. 木質系床材
5. 不飽和ポリエステル樹脂（FRP）

問46. お客様の満足度とクレームに係わる記述について、誤りを選びなさい。

1. 現在は、ハウスクリーニングの技術が優秀でも、競合他社との差別化は難しく、また、技術力だけでお客様に選ばれる時代ではない。
2. お客様との間で質の高いコミュニケーションを築き、信頼していただく関係を創出することが重要である。
3. お客様の満足を得るためには、お客様の真の声を聴くことから始めるべきである特にお客様の不満の声を聞くことが重要になってくる。
4. お客様の苦情やクレームには対応しなければならないが、常にこちらから声をかけておく等、積極的に耳を傾ける必要は無い。
5. お客様満足の基本は、「お客様の目線でものを見る」というスタンスが必要である。

問47. 労働災害を説明したもので にあてはまるものを選びなさい。

労働災害における経験則の一つであるハインリッヒの法則によると、同一の人物に類似した災害が起こる時、数値は「1:29:300」の比率を示す。1回の重度の障害を伴う事故があったら、29回の軽い障害を伴う事故があり、300回もの障害を伴わない、いわゆる が起きていたことになる。

1. コックス比例ハザード
2. インシデント
3. モラル・ハザード
4. ヒヤリ・ハット
5. ゼロ・トレランス

問48. 労働安全衛生に関する説明として正しい記述を選びなさい。

1. 物品の不安定な積み方で荷崩れを起こして下敷きになる事故例も報告されているが、一時的な仮置きの場合には注意を払う必要は無い。
2. 災害発生時の対応措置として、電気機器を使用している場合は、辺りの状況も見ながら、区切りの良いところで止める。
3. 作業手順は、仕事の内容を分析した結果に基づいて、いかに正しく、安全に速く、最小限の労力で行うためには、どうすればよいか、という立場から検討して定められることが必要である。
4. 危険予知訓練と危険予知活動とは内容的に別のものである。
5. 労働安全衛生法は、労働者の安全と衛生を守ることを事業主に求めているが、業務上実施される全ての作業方法から生ずることが予想される危険を防止するための措置までは定められていない。

問49. 次の作業計画に関する記述について、に当てはまるものを選びなさい。

作業実施手順を作成する際、埃の拡散防止や作業性を配慮しなければならない。また、水周りの部位は、の視点からの配慮も必要となる。

1. 品質面
2. 安全性
3. 衛生面
4. 室内環境
5. 地球環境

問50. 作業計画を作成する際の正しい手順を下記の語群より選びなさい。

[語群]

- イ. 作業人員の算出（作業人員の編成）
- ロ. 作業時間の算出（作業量の算出）
- ハ. 作業場所および作業内容の確認
- ニ. 作業面積（個数）の算出
- ホ. 作業計画表の作成

1. 「ハ」→「ニ」→「ロ」→「イ」→「ホ」
2. 「ハ」→「ニ」→「イ」→「ロ」→「ホ」
3. 「ニ」→「ハ」→「イ」→「ロ」→「ホ」
4. 「ニ」→「ハ」→「ロ」→「イ」→「ホ」
5. 「ハ」→「ロ」→「ニ」→「イ」→「ホ」

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので予めご了承ください。
 なお、合否結果は平成 28 年 3 月に発表し、本人に通知いたします。

平成 27 年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験解答

問題	解答								
問 1	1	問 1 1	2	問 2 1	5	問 3 1	5	問 4 1	5
問 2	3	問 1 2	4	問 2 2	4	問 3 2	1	問 4 2	5
問 3	3	問 1 3	5	問 2 3	3	問 3 3	3	問 4 3	2
問 4	5	問 1 4	5	問 2 4	1	問 3 4	1	問 4 4	1
問 5	2	問 1 5	5	問 2 5	1	問 3 5	5	問 4 5	4
問 6	1	問 1 6	2	問 2 6	1	問 3 6	3	問 4 6	4
問 7	4	問 1 7	2	問 2 7	2	問 3 7	2	問 4 7	4
問 8	4	問 1 8	4	問 2 8	3	問 3 8	4	問 4 8	3
問 9	5	問 1 9	2	問 2 9	5	問 3 9	1	問 4 9	3
問 1 0	2	問 2 0	2	問 3 0	3	問 4 0	2	問 5 0	1